

「落花生」生育情報（第1報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成26年7月18日
千葉県農林水産部
生産振興課

1 生育状況

本年の梅雨入りは、平年より3日ほど早い6月5日頃で、は種時期の5月下旬から6月上旬は、気温はやや高く、降水量は多くなりました。

各品種とも出芽は良好であり、「千葉半立」、「ナカテユタカ」の開花期はやや早くなっています。7月10日現在の生育状況は「千葉半立」が良、「ナカテユタカ」がやや良、「おおまさり」は平年並みです。

作況調査成績（7月10日調査）

品種名	年次	は種日	開花期	主茎長 (cm)	最長分 枝長(cm)	分枝数 (本/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	生育 状況
千葉半立	本年	5/25	7/3	10.8	17.1	95.8	105.1	良
	平年	5/26	7/6	11.1	14.8	69.4	66.6	
	対比	-1	-3	97%	116%	138%	158%	
ナカテユタカ	本年	5/28	6/30	13.9	14.6	71.4	87.9	やや 良
	平年	5/29	7/5	13.9	13.9	70.1	69.6	
	対比	-1	-5	100%	105%	102%	126%	
おおまさり	本年	6/1	-	15.0	19.4	58.8	63.8	平年 並み
	平年	5/26	7/4	15.7	20.5	55.8	68.9	
	対比	5	-	95%	95%	105%	93%	

* 平年値は「千葉半立」、「ナカテユタカ」平成19～25年（過去7年間）の調査データから最大・最少を除く平均

* 「おおまさり」は平成22年～25年（過去4年）の調査データの平均

* 対比は日数、または平年比

2 これからの管理のポイント

適期にマルチを除去しましょう！

開花期（ほ場の50%程度の株に1輪でも花が咲き始めた日）から7～10日後には、マルチフィルムを除去しましょう。

マルチフィルムを除去しないと、雨水やかん水した水が十分に浸透せず、収量と品質の低下につながります。

なお、「おおまさり」の場合、生育が旺盛なため、花の咲き始めにマルチフィルムを速やかに除去します。

中耕・培土と石灰施用で収量増加！

中耕・培土を行うと、子房柄が地中に侵入しやすくなり、収量を上げる効果もあります。除草を兼ねて7月下旬までに行いましょう。

また、石灰は莢実の充実を促す働きがあり、不足すると空莢や未熟莢が増加します。

子房柄の伸長時期から莢肥大期間の約1か月間は、特に石灰が必要になるので、培土時に石灰を施用しましょう。

石灰施用量の目安：苦土石灰（または消石灰）40～60kg/10a

ただし、基肥に十分石灰を施している場合など、土壌中に石灰が十分ある場合は、施用の必要はありません。

「十分なかん水」で収量を確保しよう！

7月下旬～8月上旬は、落花生の子房柄が伸長して地中で莢ができる時期になります。この時期に干ばつ害を受けると、空莢が発生し、収量が大きく減少します。

また、翌年の種子に発芽障害を起こす幼芽褐変症が発生しやすくなります。

特に、梅雨明け直後は気温が上昇し、乾燥することがよくあります。

朝から葉が閉じたままの株が見え始めた場合は、1回に30ミリ以上をかける「十分なかん水」を行いましょう。特にナカテユタカは干ばつ害を受けやすいので、週1回を目安に「十分なかん水」を3回程度行いましょう。

病害虫の早期発見・早期防除を徹底しよう！

「褐斑病」

県の病害虫発生予報では、「褐斑病」の発生がやや多くなっており、今後の発生もやや多いと予想されています。

「褐斑病」は発生初期の薬剤防除効果が高いので、発生が見られたら早期に薬剤散布し、防除を徹底しましょう。

褐斑病防除薬剤

発病初期に、下記薬剤のいずれかを散布する。

ダコニール 1000・トップジンM水和剤・トップジンM粉剤
マネーヅ水和剤・硫黄粉剤 80

* 使用法はラベルを確認してください *

「白絹病」

高温・多湿条件下で発生しやすく、地ぎわ部が侵され、白い菌糸が密生します。
やがて、発育不良となり、枯死します。

発生したときは、表土と一緒に被害株をすぐに抜き取り処分してください。

白絹病防除薬剤

薬剤名	使用時期（使用回数）	10a 当たり使用量
フロンサイド粉剤	収穫45日前まで（1回）	20kg

* 使用法はラベルを確認してください *

「茎腐病」

茎の地ぎわ部が腐り、地上部がしおれ、やがて枯死する病気です。

近年、発生が増加傾向にあり、今年も県内で散見されています。現在、登録されている農薬はありませんので、発生が認められたときは、表土と一緒に被害株をすぐに抜き取り、処分しましょう。

農薬散布に当たっては、登録のある農薬を、ラベルに記載された使用方法で正しく使いましょう。

農薬は他の作物等に飛散しないように気をつけて散布しましょう。

「落花生」生育情報は、千葉県庁ホームページで公開しています

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>